

# ルビの文字への掛け方

[axf:ruby-overhang](#) によりルビを隣の文字にどのように掛けるか指定します。ルビが親文字より長い場合は、[axf:ruby-limit-overhang](#) で掛かる量の限界値を指定できます。また、ルビが親文字と同じ幅になるよう [axf:ruby-condense](#) でルビのテキストの伸縮を指定できます。ルビが親文字より短い場合は [axf:ruby-limit-space](#) で前後の空き量を指定できます。

## axf:ruby-overhang (ルビを隣の文字へ掛ける方法の設定)

none (隣の文字へ掛けません)、start (start 側の文字に掛けます)、end (end 側の文字に掛けます)

axf:ruby-overhang="none"

つばめ  
あ 燕 あ

axf:ruby-overhang="start"

つばめ  
あ 燕 あ

axf:ruby-overhang="end"

つばめ  
あ 燕 あ

except-kanji (隣が漢字のときは掛けません)、except-katakana (隣が片仮名のときは掛けません)

axf:ruby-overhang="except-kanji"

つばめ  
あ 燕 阿

axf:ruby-overhang="except-katakana"

つばめ  
あ 燕 ア

except-start-open-parenthesis (start 側が開き括弧類のときは掛けません)、except-end-close-parenthesis (end 側が閉じ括弧類のときは掛けません)

axf:ruby-overhang="except-start-open-parenthesis"

つばめ  
( 燕 あ

axf:ruby-overhang="except-end-close-parenthesis"

つばめ  
あ 燕 )

## axf:ruby-limit-overhang (ルビが親文字より長い場合の隣の文字に掛ける限界量)

限界量は number (ルビのフォントサイズと掛け合わせた値)、length (長さ指定)、percentage (フォントサイズと掛け合わせた値) で指定します。

axf:ruby-limit-overhang="1.0" (既定値)

つばめ  
あ 燕 あ

axf:ruby-limit-overhang="0"

つばめ  
あ 燕 あ

## axf:ruby-condense (ルビが親文字より長い場合のルビテキストの伸縮量)

伸縮の限界量を none (ルビのテキストを伸縮しない)、number (ルビのフォントサイズを掛け合わせた値)、percentage (フォントサイズと掛け合わせた値) で指定します。

axf:ruby-condense="none" (既定値)

つばめ  
あ 燕 あ

axf:ruby-condense="0.75"

つばめ  
あ 燕 あ

axf:ruby-condense="50%"

つばめ  
あ 燕 あ

## axf:ruby-limit-space (ルビが親文字より短い場合の前後のアキ量の限界)

アキ量の限界は `number` (ルビのフォントサイズと掛け合わせた値)、`length` (長さ指定)、`percentage` (フォントサイズと掛け合わせた値) で指定、`none` はアキ量の制限をしません。

axf:ruby-limit-space="1.0" (既定値)

ピ エ タ  
なげきの聖母像

axf:ruby-limit-space="0"

ピ エ タ  
なげきの聖母像

axf:ruby-limit-space="none"

ピ エ タ  
なげきの聖母像